

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

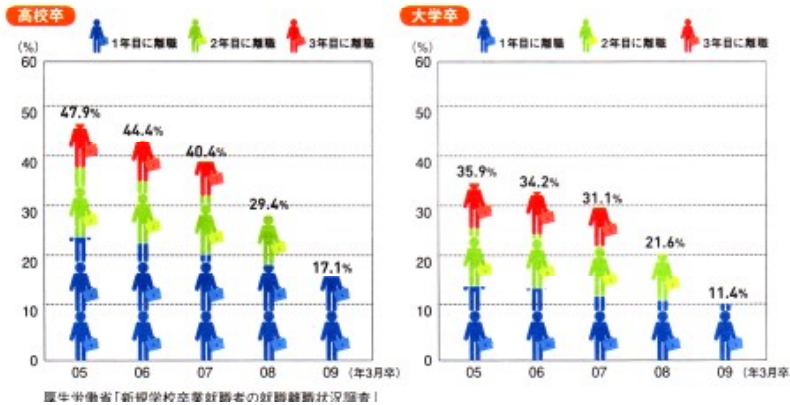
2011.5.6

No. 10

自分の適性を考えた進路選択を 七五三て知ってる？

早期に離職する人は減少する傾向

[高卒者と大卒者の離職状況]



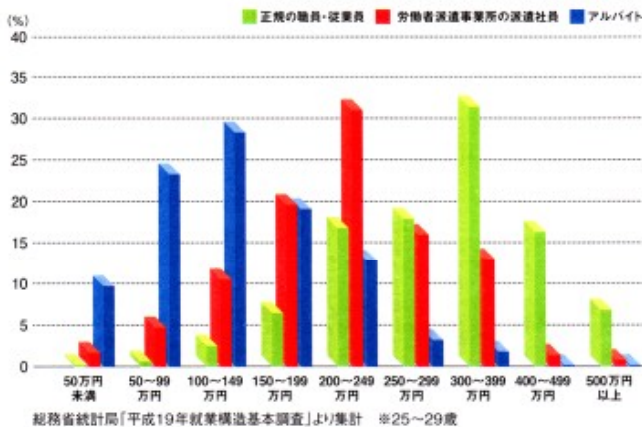
就職して3年以内に離職する人は中卒で7割、高卒で5割、大卒で3割といわれています。

最近では極めて就職難の時代となり、この傾向に少し歯止めがかかってきているようですが、本校でも毎年1年も経たないうちに離職する生徒が何人も出ています。就職試験時にやっとの思いで入社しても1年経たないうちに何人かが辞めてしまい、その企業に次年度求人をお願いしづらいことが少なくありません。本人にとっても辞めても直ぐ次の会社が見つからないのも確かです。

最近では就職が厳しいために自分の希望する会社にはいることが出来にくくなっていますが、進路決定に際しては出来るだけ自分の適性や仕事内容を事前に良く検討した上で決めるよう心がけましょう。

雇用形態で変わる年収額

[正規雇用・派遣社員・アルバイトの年収]



雇用の形態によって、年収に大きな差が見られる。同じ25~29歳で1年間に得た税込みの給与総額(年収)を比べたところ、正規の職員・従業員で最も多いのは300~399万円だが、派遣社員は200~249万円、アルバイトでは100~149万円が最多。アルバイトの約6割は150万円未満という厳しさだ。

正規社員をめざそう

左図を見てもアルバイトや派遣社員に比べて正規社員の方が年収はるかによいことが分かります。

就職が出来なければアルバイトでもいいやと今から安易に考えるのは間違いです。これから長い人生のことを考えれば絶対に正規社員で就職すべきです。出来れば高校卒業時にきちんとした職に正規で就くことが望ましいでしょう。

今年の就職は相当厳しくなりそうですが何とか正規で就職できるよう頑張ってください。欲しいものです。